

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

40th
and more

セレスポ

セレスポ・ニュース
平成29年11月発行
第98号

CERESPO NEWS

vol. 98 November
2017

豊島区職員互助会大運動会

大人も子どもも
一致団結!

セレスポ
Pick Up

TEAM BEYOND
BEYOND FES 渋谷に
出展しました!!





豊島区職員互助会大運動会

普段の仕事と同じように 熱気を持って取り組む!

10月28日、埼玉県の上野原町で豊島区役所の職員互助会による運動会が行われました。

豊島区職員互助会では、レクリエーションを通して、職員が一丸となって区政に取り組むという想いを持って定期的にスポーツ大会などを実施。今回は参加できる競技数、人数を増やしてより幅広い年齢の職員に集まって欲しいと運動会を企画したそうです。運動会当日は約500名が参加。大玉はこびや玉入れ、綱引き、リレーなど職員の子どもたちも交えて開催されました。曇り空も熱気で吹き飛ばした運動会の準備から当日までについて運動会の実行委員会事務局でもある、総務部人事課の立原直樹さんにかがいました。

区民のためにも職員同士の距離を縮めていきたい

約20年ぶりに運動会を開催しようと考えた経緯を教えてくださいませんか？

立原さん：時代の変化もあります。仕事が紙からパソコンへと移ってきて、自然と会話をする機会が減っているんです。若い人はパソコンに馴れているので、小さなことならメールで済ませてしまうこともあります。デスクまで行って会話をすれば「そういえばあれってどうなってる？」と他の会話につながったりもしますよね。



豊島区役所 総務部 人事課
立原直樹さん

仕事をする上で効率、生産性を考えることも大事なんです。非効率に見えることも効率、生産性につながるのではないのでしょうか。今回の運動会もそういった想いがあるから開催しました。

定期的にスポーツ大会を開催していますが、どうしても参加するのは若い人が中心になってしまいます。中堅や役職者にも参加してもらって、全員で協力、競争してもらいたい。お子さんも招いて職場以外の表情も見られれば、普段怖いと感じている上司も「実は優しい」と気づけますよね。

運動会の開催に向けて苦労したことはありましたか？

立原さん：前回の開催が20年以上前ですので、ゼロからのスタートになったことですね。準備をするにしても何が必要なのか、庁内にもどう伝えればいいのか。できる限り多くの職員に参加してもらうためには、告知をどうすればいいのか、なども考えていきました。

私は人事課で仕事をしているため、イベントを運営した経験がありません。会場が駅から離れていたのですが、バスをどうやって手配すればいいのか、当日、もし雨が降ったときにどのタイミングで中止にするか、またどう告知するか、など悩んでしまいましたが、セレスポさんはしっかりと話を聞いてアドバイスしてくれたのでとても助かりました。

今回の運動会を採点するとしたら何点ですか？

立原さん：70点です。雨が降ってしまい、全競技ができませんでした。あと馴れていないとは言え、準備が後手後手になってしまった面もあるので30点マイ

インタビュー所感

参加されている方はみなとても楽しんでいただいていたことが感じ取れましたが、立原さんの「我々の仕事は人から人へ受け渡していくもの」の一言を聞いて「なるほど」と感じました。日々の仕事もしっかり“次の人”を意識して進めていく。これはチームで仕事をする醍醐味のひとつかもしれませんね。



ナスです。それでも、約500名が参加してくれました。年齢層も偏りがなく、お子さんをつれてきてくれた職員もたくさんいましたので当初の目的は達成できました。

大玉はこびや大縄飛び、リレーなど、我々の仕事と同じく誰かから誰かに受け

渡していくものです。私たちのコミュニケーション、コンビネーションが滞ると区民の方々に迷惑をかけてしまう。その想いを持って仕事に取り組んで欲しいと感じました。次回の開催はまだ未定ですが、今回の反省を生かし100点を目指していきたいです。

EventData

- 豊島区職員互助会大運動会
- 2017年10月28日
- 豊島区立三芳グランド運動場 (埼玉県入間郡三芳町)
- 豊島区



REPORT 株式会社セレスポ 東京支店 倉林亜衣

やりたかった仕事だからこそ たくさんのお客さまを喜ばせるようになりたい

今回、セレスポは企画から当日の運営まで関わりました。苦労したのはバスの送迎。遅れて到着する方もいらっしゃるのではどう対応するかを考えました。旅行会社さんに相談したところ、もう一本バスを増やすなどいろいろ提案いただき、困っても立ち止まらなければ必ず解決方法があることを知りました。

私は2017年に新卒としてセレスポに入社しました。元々私は人を楽しませたり、喜ばせたりすることが好きでした。家族や友だちの誕生日会を計画して「楽しかった!」と言っ

てもらうことが嬉しい。今回の運動会は、お客さまと一緒に頭を悩ませて準備をしていきましたが、当日は多くの職員の方が楽しんでくれました。

ただ、まだお客さまに「これはどうなってますか?」と先に聞かれてしまうことが多いことにも気付きました。聞かれたらすぐ答えられるのはもちろんですが、先手を打ってご提案やアドバイスができるようになりたい。小さいことですが、私は打ち合わせでも資料だけを見てしまうのではなく、お客さまの顔を



見てお話しをうかがうようにしたり、電話でも明るい声で出るようにしたりと気付いたことから実行しています。

やりたかった仕事だからこそ仕事を通して成長し、少しでも多くのお客さまから「ありがとう」「助かった」と言ってもらえるような仕事ができるようになっていきたいです。

セレスポ
Pick Up

TEAM BEYOND※1

BEYOND FES 渋谷に出展しました!!

2017年10月28・29日に渋谷マークシティ(東京都渋谷区)にて開催されたBEYOND FES 渋谷に出展しました。多くの方に訪れていただき、パラスポーツへの関心や、その魅力をお伝えできた2日間でした。

※1: TEAM BEYONDは、パラスポーツを通じて、みんなが個性を發揮できる未来を目指すTOKYO発のチームです。(TEAM BEYONDウェブサイトより)

10月28日(土)

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)とパラトライアスロンの合同ブースを出展しました。パラトライアスロンを身近に感じてもらうために、PTS2クラスの男子アジアパラトライアスロンチャンピオンの中山賢史朗選手と、JTUパラリンピック対策チームマネージャーの松山アヤトさんをお迎えし、トークショーや、競技用バイクの試乗会、パラトライアスロンクイズをおこないました。



▲JTUパラリンピック対策チーム
松山マネージャー(写真左)



▲中山選手(写真右)

10月29日(日)

パラ陸上体験ブースを出展しました。パラリンピック7大会出場の永尾嘉章元選手を迎え、競技用レーサーと義足の体験会を実施しました! 競技用レーサー体験コーナーでは、みんなで永尾元選手とスピード対決。大人から子どもまでたくさんの方に挑戦していただきました。また競技用義足体験コーナーでは、実際に装着して歩行を体験。初めての感覚に驚く方も多く、たくさんの方々を楽しみながら体験をしていただくことができました。



▲永尾元選手(写真右)とスピードトライアル



▲競技用義足体験

12月の イベント

2017年12月7・8・9日 10:00~17:00
エコプロ2017 に出展します。

東京ビッグサイト 東ホール 1-037
イベント分野におけるサステナビリティの取り組みを
海外事例も交えて紹介します。

2017年12月12日 14:30~18:00

サステナブルイベントセミナー
「SDGsとイベント」を開催します。

東京ミッドタウン カンファレンス Room5
社会課題への取り組み、解決に向けての機会、
ツールについて情報共有します。

発行 発行日:平成29年11月27日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)
TEL: 03(5974)1111 FAX: 03(5394)7651
http://www.cerespo.co.jp/

CERESPO NEWSIに関するお問い合わせは
株式会社セレスポ コーポレートデザイン室(cd@cerespo.co.jp)まで

編集 山川 譲 (yawn)
記事 コーポレートデザイン室
デザイン 山本制作所

編集後記

「スポーツの秋」といわれて、思い浮かぶのが運動会。今から半世紀ほど前の運動会は、統制のとれた行進や演技で「一心同体」を見せるというイメージがありますが、最近は、企画の段階から、どのようなコンテンツがあれば楽しんでもらえるのか、良い一日だったと感じてもらえるのかなど、「異体同心」で、参加者全員が楽しめるように工夫されつつ、チームとしての「一体感」が形成できるような運動会が開催されているようです。開催団体や企業の特徴がある競技が盛り込まれたり、家族も一緒に参加できる運動会もあり、機会があればまた参加したいと思っています。